

第4号議案

社会資本整備総合交付金事業(街路)

いせさききりゆうせん いせさきし
都市計画道路 伊勢崎桐生線 伊勢崎市

着工年度

平成16年度

評価理由

10年継続

1. 事業の目的

- ・伊勢崎駅付近連続立体交差事業および伊勢崎市施行の区画整理事業と併せて、本路線を整備することで、渋滞の解消と交通の安全を確保する。
- ・伊勢崎駅へのアクセス機能の向上を図る。



2. 事業概要と進捗状況

事業概要

事業場所	いせさきし へいわちょう いせさきし しょうわちょう 伊勢崎市平和町～伊勢崎市昭和町		
区分	今回	平成21年度 計画変更時	事業当初
全体事業費	3,000百万円	3,000百万円	3,000百万円
全体事業費増減の理由			
事業期間	H16～H26	H16～H26	H16～H21
事業内容	道路延長 800m 幅員 16～18m	道路延長 800m 幅員 16～18m	道路延長 800m 幅員 16～18m

事業経緯

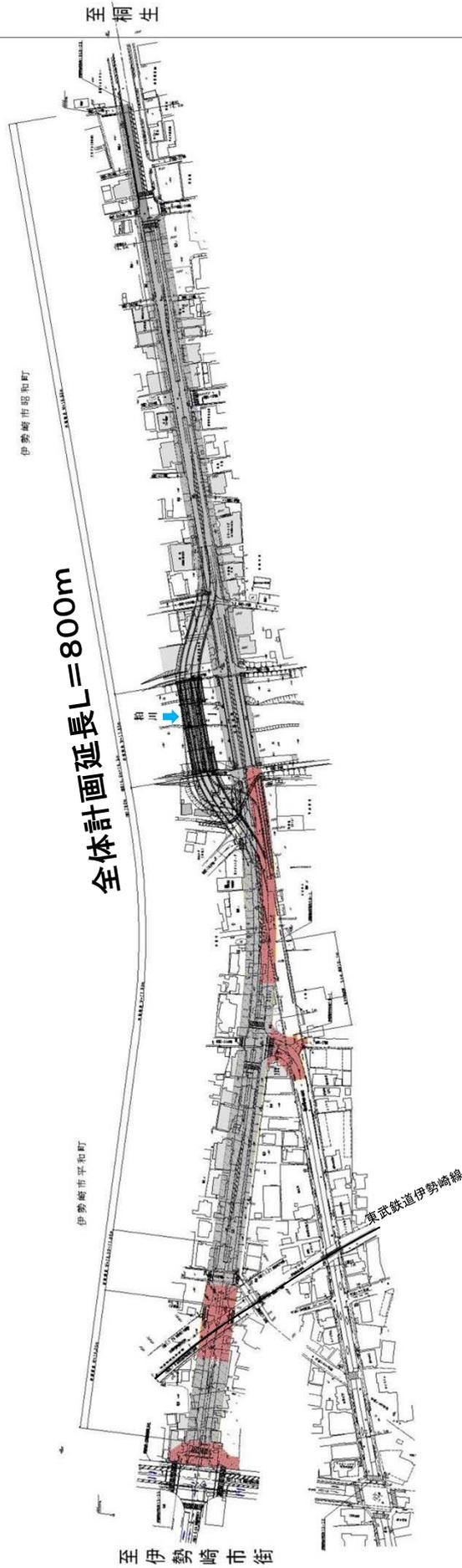
年度	主な経緯
H16	測量・詳細設計
H17	用地買収着手
H19	工事着手
H23	用地買収完了

進捗状況

	全体計画	現在の進捗状況 (進捗率)	前回評価時の 進捗状況 (進捗率)
事業費	3,000百万円	2,715百万円 (90.5%)	—
用地買収	6,668m ²	6,668m ² (100.0%)	—
計画延長	800m	625m (78.1%)	—

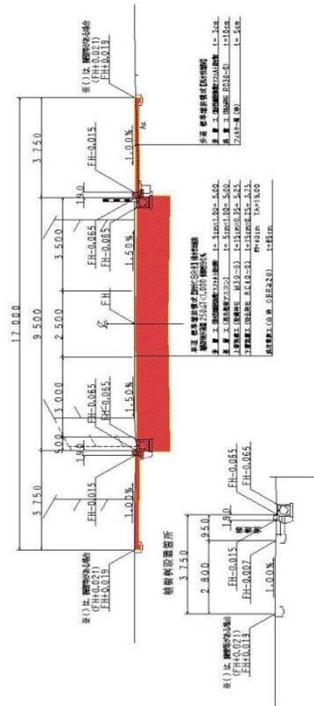
2. 事業概要と進捗状況(図面・写真等)

平面図



標準横断面

一般部(平和町)

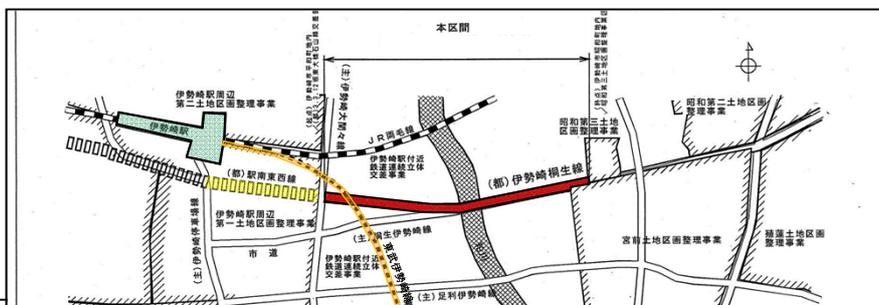


設計標準	
歩道幅員	3.000m
歩道高	1.500m
歩道勾配	1.5%
歩道排水	側溝
歩道照明	標準
歩道舗装	標準
歩道境界	標準
歩道植栽	標準
歩道家具	標準
歩道標示	標準
歩道照明	標準
歩道排水	標準
歩道舗装	標準
歩道境界	標準
歩道植栽	標準
歩道家具	標準
歩道標示	標準

凡例	
	買収済み用地
	整備済み区間
	未整備区間

3. 事業の目的・必要性に変化はあるのか？

- ・事業開始時に比べ交通量は若干減少しているが、依然として平日9,242台/12h(H22センサス)であり、特に朝晩の通勤時間帯は、交通渋滞が著しいため(旅行速度20.9km/h、混雑度1.21)、混雑解消の必要性が高い状況に変わりはない。
- ・伊勢崎駅付近連続立体交差事業がH26完成予定であることから、伊勢崎市施行の区画整理事業と協調し、伊勢崎駅へのアクセス道路として整備することが急務である。



4. 目的を達成するための事業(手段)は適切か？

- ・交通渋滞の解消、通行者の安全性向上、伊勢崎駅へのアクセス向上が図れることから、目的を達成する事業として適当である。
- ・供用済み区間においては、歩行者・自転車が安全に通行できるようになり、事業効果が確認されている。
- ・本路線は、第2次緊急輸送道路に指定されており、電線類地中化を実施することにより、地震時の災害に強い路線となる。



費用便益分析

		計 画 時		今 回 再 評 価 時		備 考	便 益 説 明
算出根拠マニュアル		費用便益分析マニュアル		費用便益分析マニュアル			
基 準 年		平成15年		平成25年			
区 分	項 目	現在価値	構 成 比	現在価値	構 成 比		
費 用 (千円)	工 事 費	2,190,882	97.5%	3,219,000	98.1%		
	維 持 管 理 費	55,095	2.5%	63,000	1.9%		
費用合計(C)		2,245,977		3,282,000			
便 益 (千円)	走行時間短縮 便 益	4,346,837	87.6%	4,194,000	75.0%		
	交通事故減少 便 益	84,641	1.7%	122,000	2.2%		
	走行経費減少 便 益	532,200	10.7%	1,278,000	22.8%		
便 益 合 計 (B)		4,963,678		5,594,000			
費用対効果分析(B/C)		2.21		1.70			

5. 事業が長期間要している理由は？

【 元々が長期計画

不測の事態により長期化】

- ・事業地が中心市街地の人家連単地域であることから、用地交渉が難航していたが、平成23年度に用地取得がすべて完了し、現在は、順調に事業が進捗している。
- ・鉄道交差部は、現在線路撤去後でないといと工事着手できないが、平成25年度に鉄道高架切替え予定となっている。



6. 事業の対応方針は？

事業継続

事業中止

変更なし ・ 事業計画の変更 ・ スケジュールの変更

本事業区間の通勤・通学時間帯の渋滞は解消されておらず、渋滞解消の必要性は変わっていない。伊勢崎市施行の区画整理事業と協調して整備を進めることにより、鉄道高架完了後の伊勢崎駅へのアクセス機能が向上し、中心市街地の活性化にも寄与することから、早期完成に向けて事業を推進したい。

平成23年度に用地買収が完了し、交差する東武鉄道伊勢崎線が、平成25年度に高架切替え予定である。現在の線路が撤去され次第、鉄道交差部の工事に着手することにより、平成26年度に事業完了予定であることから、事業継続が妥当である。

なお、工程を再検証し、工期のさらなる短縮を図る。

車道部 平成26年度上期供用開始(半年前倒し)